

Namie Global Campus Town ~summary~



本編はこちらのQR
から御確認ください



《本構想の位置づけ》

町の最上位計画である浪江町復興計画【第三次】や、その関連計画を踏まえながら、F-REIの本町への立地に伴う状況変化に対応するため、本構想を策定します。

なお、浪江町復興計画【第三次】の改定時に、施策などの整合を図ります。

計画期間：令和6年度～令和15年度

浪江国際研究学園都市構想

～ 概要版 ～

2024.3

《本構想のビジョン》

地域とF-REIをはじめとした 多様な主体が共生する 持続可能なまちづくりの実現

F-REIをはじめとした多様な主体の研究成果が早期に発現すれば、浪江町の復興もより一層推進されるため、地域と多様な主体がともに支え合い、効率的、効果的に多様な主体が活動できる環境をつくるのが重要です。

このため、浪江町は、F-REIの立地に対応した新たな都市像として「国際研究学園都市」を掲げ、浪江町と「浜通り・福島県（中通り、会津地域）」、「全国・世界」を繋ぎ、地域全体の産業創出、人材育成、人口増加に着実に結び付け、地域と多様な主体が共生する持続可能なまちづくりの実現を目指します。

目標 1 誰もが過ごしやすいまちづくり

《地域と多様な主体の共生を促進するコミュニティ形成》

- ・産学官民が一体となり、交流やネットワークづくりを行います。
- ・外国人の受入に向け、多文化理解などによる受入機運を高めるとともに、多言語の情報発信などによる環境整備を行います。

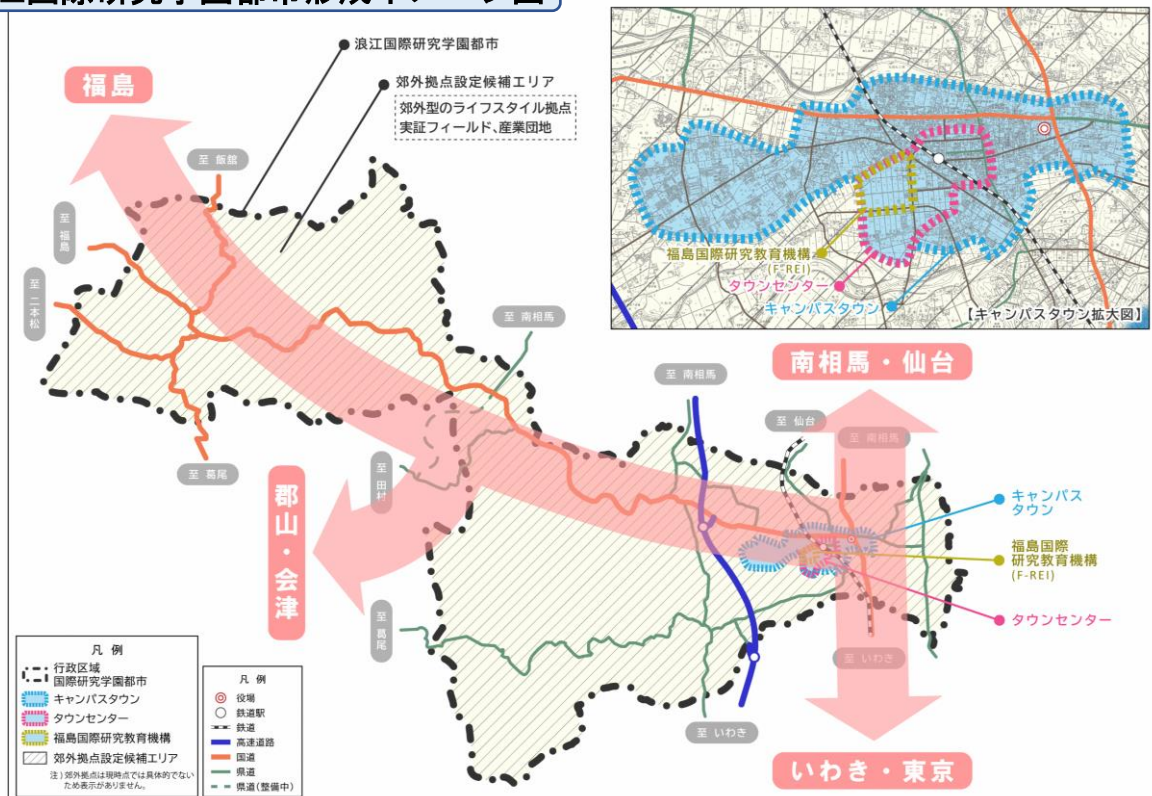


《地域と多様な主体の共生を促進する都市整備》

- ・教育施設、子育て環境、医療・介護などの都市機能の誘導や、広域的なアクセス向上を図ります。
- ・都市計画用途区域の概ねを「キャンパスタウン」とし、民間活力の誘導を図るとともに、浪江駅やF-REI周辺を「タウンセンター」とし、生活関連の施設や産業化施設の整備を行います。また、郊外（場所未定）には、郊外型の生活の場の創出や実証フィールド、産業団地の整備を行います。



浪江国際研究学園都市形成イメージ図



目標2 浜通り・福島県の広域連携による産業振興・雇用創出

《実験・実証しやすい環境づくり》

- ・ 研究実証フィールドなどへの支援体制構築などを行います。
- ・ 実験・実証の可能性拡大に向けた規制緩和などを検討します。
- ・ 研究成果を社会実装し社会課題の解決を図ります。

《創造的な産業空間づくり》

- ・ 研究成果の産業化を図るために必要な施設や事業者支援などを行います。
- ・ 産業集積に向けた地域の魅力向上を図ります。
- ・ 企業の誘致等に向け、多様な手段での情報発信を行います。

《浜通り・福島県全体での価値向上の好循環・連鎖の形成》

- ・ 産学官民が連携した広域的なネットワークの形成を支援します。
- ・ 様々な人たちと連携し新たな価値観の創出（いわゆる共創）を推進します。



目標3

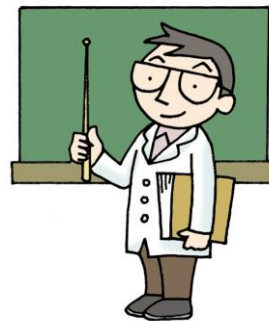
国際的な研究環境で活躍し、復興をリードする人材の育成・確保

《人材や担い手の育成・確保》

- ・ 若者世代と先端技術のふれあいや、研究成果の社会実装などにより、復興をリードする人材や担い手を育成・確保します。
- ・ 復興に関する知見などを活かし、ここでしかできない教育を創出します。

《国際的な学術・教育空間づくり》

- ・ 浜通り全体で魅力ある環境整備や情報発信を行い、F-REIを核とした研究機関などの集積を図ります。
- ・ 小中学校から高等教育機関（大学など）までの教育機能の誘導や、県立高校の再開要望などを行います。



目標4 伝統文化の承継と新たな浪江文化の創出

《伝統文化の承継と新たな浪江文化の創出》

- ・ 浪江町の歴史や文化、伝統の継承の仕組みづくりや、食や自然などの浪江の長所を活かした取組を進めます。
- ・ 上記を大切にしつつ、これまでの住民、移住者、F-REI職員・研究者をはじめとした様々な人たちと新しいことに挑戦できる文化を醸成します。



浪江町はこれから どのように変わるでしょうか？

まち・暮らし

新しく浪江町に住む方々や外国から移り住む方々と共に生活する町になります。町内では、多くの若い人たちがこの地域をどうするかを活発に話し合い、様々な事にチャレンジしています。

また、研究成果を生活に取り入れて暮らしやすさが向上することや、研究者や学生など多様な方々と住民間の交流も盛んになり、川、山、海の自然に癒され、**一人一人が生き生きと生活**しています。

さらに、市街地を中心に、居住・滞在する方々などの増加により商業施設や浪江の物産を使う飲食店などが立地し、**毎日がにぎわうまち**になっています。



産業・仕事

町の中で実証などが当たり前に行われ、**チャレンジできるまち**になり、様々な研究者や大学、企業などが町の中で活動しています。

これらの研究成果から多くの起業・産業化がなされ、町内企業と交流・連携し、この相乗効果で、さらに**新しいビジネスが生まれ活気があるまち**になっています。

新しい業態へのチャレンジ、既存業態の深化と発展などにより、多くの雇用が生まれ、**都会に行かなくても生活していけるまち**になります。



つながり

世界的な研究者や先端的な研究などと住民が触れる機会が生まれ、子どもたちへの教育施設も充実し、**浪江町から世界に羽ばたく人材**が生まれています。

様々、浪江町の環境が変わる中で、なくしてはいけない**浪江町の歴史と文化を、新しく浪江町に住む方々なども担い手となり承継**しています。

また、新たな文化として、常に新しいことに挑戦することが当たり前になり、**新しい浪江町の誇り**が生まれています。



F-REI詳細はこちらのQR
からご確認ください

